

・ 外部講師による研修	・ 絵画制作および運動に関しては外部の講師を招き、子どもたちに直接指導をしていただくことに併せて、教師に向けての園内研修会も行った。また、日頃の保育の中において疑問に思ったこと、困難に感じたことに対しての専門家からの指導もいただき、子どもたちへより適切な指導をする事が出来る様、心掛けた。 また、“コーディネーション”を取り入れ、更に充実した園生活を送れる様にと、引き続き教育の充実を図った。（専門資格所有講師による直接指導で、子ども達の体幹や神経系の発達を促すもので、動きの統合性や機敏性の向上が期待出来る。）
・ 園内研修	・ 上記の、教師に向けての絵画実技指導や、体育実技指導に加え、大阪市就学前教育カリキュラムを軸とした“園内研修会”も、園長主導の下、行っている。また、各々が改めて日頃の保育に対する目標（ねがい）を意識しつつ保育を行う事が出来る様、日々の反省会の中で「今日の一コマ」とした“気付き”を、写真を通してディスカッションし、互いに研鑽を積む機会を設け、日頃の保育に活用することが出来る様な“学び”の機会を、園内研修として、内容を掘り下げつつ、続けていきたいと思う。
・ 子どもたちの安全への教育	・ 園バスのない当園では、徒歩もしくは自転車での送迎が主であるが、その登園・降園時の交通マナーが例年の課題となっている。近隣の方や、地域の方たちへの配慮が必要となるので、その事に関しても、子どもたちへの指導、また、保護者の方への注意喚起も行っており、ここ数年間は特段のご指摘は頂いていないが、今後も気を緩めず、引き続き指導・配慮を続ける必要がある。 登園、降園の際の歩道の確保（長時間に渡る際、園庭や教会側敷地内への駐輪の誘導）、また、子どもの道路への飛び出しに関しては、かなり減少したと思われるが、降園後、制服のまま公園や近隣地で遊ぶことに関しては、子どもたちに対しても、園と家庭とのけじめの点や、保護者に対しても当園の指導力不足という印象を与える事にもなり、地域に対しても良い影響とはならない為、この点も引き続き注意喚起を行ってきたい。 ・ また、防災への取り組み、ことに災害に備えた防災マニュアルの見直しをはかり、保護者の方との連携をより確実に取ることができるよう工夫し、「引き渡しカード」また、保護者以外の方が来られた際にも迅速に対応できるよう、「引き渡し可能者名簿」も作成し、有事に備える様にしている。一斉送信連絡も有事の際に強いと言われているアプリケーション“LINE”仕様の様式を用いる事により安心・安全に運用出来る様にし、活用している。 ・ 毎年、火災による消防訓練や、地震による避難訓練も行っているが、近年は大きな地震も多数あり、南海トラフ地震もいつ何時起こるか判らない状況であるので、万一の際の指定避難所（上福島小学校、金蘭会中学・高等学校）等への避難訓練や、予告なしの園内訓練も行いたいと思っている。